

特集 財政公表 平成17年度の決算状況



市の平成17年度予算は、平成18年3月31日をもって会計年度を終了し、現金の未収や未払いを整理するための期間を経て、最終的に平成18年5月31日をもって出納閉鎖されました。

今月号では、表やグラフを使いながら、平成17年度の決算状況をお知らせします。

平成17年度の 決算と収支

◎決算

市の財政は、一般会計のほか、6つの特別会計（国民健康保険、学校給食事業、公共下水道事業、老人保健、簡易水道事業、介護保険）と1つの企業会計（水道事業）で運営しています（3ページ「財政用語解説」参照）。

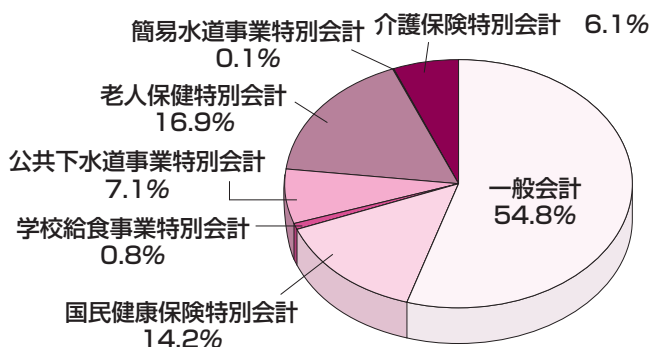
決算状況（「表1」「グラフ1」参照）を見ると、老人保健特別会計が1千769万円の赤字になっています。老人医療費は、自己負担分を除いて、各保険者（国民健康保険など）が拠出する支払基金や国、北海道、

【表1】平成17年度決算額

| 会計区分 | 歳入 | 歳出 | 差引額 | |
|------|------------|-------------|------------|-----------|
| 一般会計 | 225億 835万円 | 220億4,245万円 | 4億6,590万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 60億7,117万円 | 57億1,755万円 | 3億5,362万円 |
| | 学校給食事業 | 3億2,732万円 | 3億2,732万円 | 0万円 |
| | 公共下水道事業 | 28億7,197万円 | 28億7,079万円 | 119万円 |
| | 老人保健 | 67億6,928万円 | 67億8,696万円 | △1,769万円 |
| | 簡易水道事業 | 4,714万円 | 4,714万円 | 0万円 |
| | 介護保険 | 25億2,808万円 | 24億4,718万円 | 8,090万円 |

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。

【グラフ1】平成17年度歳出全体に占める各会計の割合



市が割合を決めて負担することになっています。

平成17年度は、支払基金や国、北海道の負担分が概算（見込み）で交付されましたが、医療費が予想以上に伸び、本来交付されるべき金額に不足を生じたため、赤字となりました。この不足額は、平成18年度に支払基金と国から入ってくる予定です。

学校給食事業特別会計と簡易水道事業特別会計は、歳入と歳出が同額。一般会計と国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険特別会計は黒字となっています。この黒字額は、平成18年度予算の歳入として繰り越されることになります。